

公益財団法人さんりく基金
平成 25 年度第 2 回理事会 議事録

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 平成 26 年 1 月 22 日 (水) 午前 11 時 00 分から午前 11 時 45 分
- (2) 場所 岩手県盛岡市内丸 10 番 1 号 岩手県庁 8 階 8-E 会議室

2 役員の現在数 理事 6 名 監事 2 名

3 出席者

(1) 理事

代表理事	千葉 茂樹	業務執行理事	紺野 由夫
理事	緒方 武比古	理事	杉本 功陽
理事	望月 正彦		

(2) 監事

監事	平賀 富比古
----	--------

(3) 事務局

事務局長	藤田 芳男	事務局次長	千葉 敬仁
事務局員	藤原 杏奈	事務局員	川村 泉

4 欠席者

理事	植田 眞弘	監事	向井田 敏宏
----	-------	----	--------

5 議長

代表理事 千葉 茂樹

6 決議事項

第 1 号議案 平成 26 年度事業計画及び収支予算の承認について

第 2 号議案 平成 25 年度第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

7 議事の経過

午前 11 時 00 分開会した。

紺野業務執行理事が理事現在数 6 名中、本人出席 5 名により、定款第 37 条に定める定足数を満たしており、本理事会は成立した旨を告げた。また、監事には理事会運営規則第 13 条の規定により、理事会に出席し、意見を頂くこととなっており出席いただいているとの説明があった。続いて、千葉代表理事より、あいさつがあった。

続いて、定款第 39 条第 2 項により、議事録署名人は千葉代表理事、平賀監事であることを確認し、以降の進行は、定款第 36 条の規定により、千葉代表理事が行うこととなった。

報告（1）「職務執行の状況について」

議長は、報告を求め、紺野業務執行理事が報告した。

議長が、報告について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、直ちに議案の審議に入った。

第1号議案「平成26年度事業計画及び収支予算の承認について」

議長は、第1号議案について事務局に説明を求め、藤田事務局長が説明した。

議長が、第1号議案について質問、意見を求めた。

【杉本理事】

「県北沿岸地域特産品開発事業」について、先ほどの報告の中で、今年度採択事業53件中3件の廃止があるが、廃止になった理由としてはどのようなものがあるのか。

【藤田事務局長】

人手不足により通常営業が忙しく、今回の事業に手が回らなかったという案件が多い。今年度できなかった事業について、様子を見ながら来年度また手をあげたいという事業者もいる。

【杉本理事】

25年度できなかった事業者については、26年度申請時に配慮していただければ助かると思う。

【千葉代表理事】

こういった細かい事業は県や市町村では拾い難い事業なので、できるだけ拾いたいと思っている。小事業者であるがゆえ、手が回らずに廃止するといったケースも出てくるが、来年度の申請を促すなど柔軟に対応していく。

【望月理事】

今後の取組みの方向についての意見を申し上げる。

1つめ、交流促進についてであるが、交流人口を増やす取組が必要である。特に岩手県は、外国人がほとんど来ていない。沿岸をみると、三陸復興公園、ジオパーク、世界遺産平泉、世界遺産候補の橋野高炉跡などがあり、資源がないわけではない。しかし、外国語の標識はほとんどなく、日本語の標識すらないところもある。せめて、英語、中国語、韓国語は必要。これは、市町村ごとの取組みでは弱い。さんりく基金でどこまでできるかは分からないが、沿岸だけではなく内陸も同様であり、県全体を見て、これから考えていかなければならない。

2つめ、商品開発の助成はいろいろあるが、その後のフォローがない。全国に色々なイベントがあり、出展依頼が来るが、小事業者は旅費を出せず、売り込みに行けないケースも多い。開発したものをどうやって売るかということも大事であり、販路開拓につい

での助成ができないか。せつかくできあがったいい商品を埋もれさせないような取り組みが必要であると思う。

【藤田事務局長】

1 つめに関しては、県と連携して、今後検討する。

2 つめに関しては、新商品をどうやって売り出すかということは、特産品開発事業の中の概念の一環でもある。出展のための旅費等を対象経費に含めるかどうか検討して、今年度の募集要項等でできるところから対応していきたい。

【緒方理事】

「三陸縦貫道路等交通基盤整備後の地域振興策調査」について、調査の主体及び内容はこういったものを考えているか。

【藤田事務局長】

主体はさんりく基金であるが、専門的な部分は民間のコンサルへの委託を想定している。市町村、関係機関の意見を頂戴しながら、民間のシンクタンクでの具体的な調査をベースに実施したい。道路整備後の人の動き、商圈等、現時点で予測される項目をしばって、調査をしていこうと考えている。

【千葉代表理事】

この調査は、非常に大きい話であり、最終的な個々具体の分野は行政がやるべきことであるが、大枠のフレームを仮説的に出してもらうことが必要である。今回の事業は、一番最初のスタートという位置づけで、関係各所の意見を聞きながらやっていきたい。

【平賀監事】

公3「調査研究事業助成」について、助成金額を500万円から200万円に減額しているが、大学の実施者等が困惑することはないか。

【藤田事務局長】

そもそも500万円の上限額については、単年度助成であり、500万円という費用に見合った研究成果が単年度できちんと現れるか、という指摘もある。今年度の審査委員会でも、全体で6件の申請中2件の採択であり、具体的な研究の中身や成果がこちらで要求している内容に満たないということも多かった。従前100～200万円の間で実施していた経緯もあり、減額したもの。

特に必要であると認められた場合は、年度途中で補正して増額するなどの対応も考えていきたい。

【平賀監事】

商品開発に関しては、金融機関としても非常に問題にしている。銀行では、工場等立ち上げの資金を出しているが、できた商品をどうやって売るかという支援にも重点を置

きつつあり、商談会を企画している。ブースの手当てはするが、旅費の支援がない。支援があれば、より多くの参加者が出て、販路開拓にもつながると思う。

【藤田事務局長】

募集要項等の中で検討していく。

議長が他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第 1 号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第 2 号議案「平成 25 年度第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について」

議長は、第 2 号議案について事務局に説明を求め、藤田事務局長が説明した。

議長が、第 2 号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

①開催日時 平成 26 年 2 月 4 日（火）午後 1 時 30 分

②開催場所 岩手県庁 8 階 8-E 会議室

③議事に付すべき事項

- ・平成 26 年度事業計画及び収支予算の承認について

議長が、その他質問、意見を求めたが、特に発言はなく終了した。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等を終了したので、議長は午前 11 時 45 分閉会を宣言した。